様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日 2024 年 1 月 5 日

１．職名・氏名　教授・池田英二

２．学位　　学位　博士、専門分野　医学、授与機関　金沢大学、授与年月　2000 年 3 月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 卒業研究(4) 4 年通年
②内容・ねらい（自由記述） これまで学んできた社会福祉学の 4 年間のまとめとして、自ら選んだテーマに沿って自主的に研究を進め、より充実した卒業研究の作成を目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 受講希望者なしだった。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 社会福祉基礎演習(2)2 年通年
② 内容・ねらい（自由記述） 社会的な諸問題を取り上げ、情報を収集し、整理し、発表資料を作成する。そしてそれを元に効果的な発表を行い、全員で問題解決に向けた討論を行う。演習科目であり、受講者が自ら主体的に運営する。なお、前期は国際機関などが発行している基礎的資料の輪読も実施する。発表者の時は、自ら調べたこととそれに基づく意見を、他の受講生にわかりやすく説明できるようになる。発表者でない時には、発表に対する疑問点や自らの意見を適切に表明できるようになる。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 課題の出題や資料は LMS を用いて配布するなど工夫した。さらに、主にマスコミを通して世間に流布している言説が本当に正しいのか、客観的な資料をもとに議論することでマスコミを盲目的に信じる危険性について注意喚起した。また、生成 AI による情報をあえて提示し、特にネットの情報の過信についても注意喚起した。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 精神医学(4)2 年前期
②内容・ねらい（自由記述） 精神医学の歴史から、基盤となる脳の解剖生理、症状や検査法、治療法を概説したのち、個別の精神疾患について、視聴覚教材を使用しながら全般的に講義する。また、症例を適宜提示し、受講生同士による症例検討を実施。 代表的な精神障害の成因、症状、治療について生物学的、心理学的、社会学的な観点から理解し、多面的なアプローチができるように広範な基礎知識を習得する。そして、それらの基礎的知識を総動員し、事例検討を通して全人的な患者理解と効果的な支援とは何かを考えられるようなれることを目標とした。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 講義資料は LMS に事前にアップし、予習の便宜を図った。また、視聴覚教材も利用することで、リアリティーを持って学習できるように配慮した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
精神保健 I(2) 2 年後期

②内容・ねらい（自由記述）
現代社会の精神保健上の諸問題を、ライフサイクル(ライフステージ)、社会的場面などの面から、特に身近な話題を取り上げ、その課題・対策について学ぶ。また、関連する法令についても取り上げる。疾病性(病気の問題)のみならず、事例性(実生活での問題)の観点から、適切な支援を考えることができるよう、各種法令との関連も説明できるようになることを狙いとした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
ライフステージ、社会的場面毎に見られる精神的な問題を、各種ドキュメンタリーや映画など視聴覚教材を活用し、より深い理解ができるようにした。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
現代福祉問題論(2) 1 年前期　オムニバス形式

② 内容・ねらい（自由記述）
科目全体の狙いは、社会福祉（学）を構成する数々の知見や議論の概要が把握できるようになることである。担当したのは環境と精神保健との関係についてである。精神医学への導入を兼ねている。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
講義後は LMS にて小テストを実施し、各自の復習に役立てるようにした。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
精神保健学特論(2) 修士１前期

②内容・ねらい（自由記述）
精神症状や検査法、治療法を再確認したのち、ライフステージをもとに個人から社会まで広い視野で精神疾患について考える。精神疾患に関する知識を、ライフステージを軸にして生物学的（Bio）－心理的（Psycho）－社会的（Social）の各側面から考えていく。特に、受講生自身の身近な問題を通じ、自ら疑問を調べ、解決できるようになることをねらいとする。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
受講者は全員社会人であり遠方の受講者もいたため ZOOM で実施した。また、映像資料は送付しておき、各自が自時間的な制約を受けずに興味深く受講できるようにした。講義時は受講生の発言を促し、受講生参加型となるよう配慮した。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
健康福祉学特論(2) 博士１前期　分担

② 内容・ねらい（自由記述）
社会福祉政策の歴史を学び、現状での高齢者福祉・障害者福祉、地域福祉の課題とそれに対する解決策について講究する。社会全体の Well-being の向上に向けた総合的なアプローチ方法を学習する。このうち精神医学の立場からアルコール・ギャンブル・ゲーム・インターネットなど多様な依存症について担当。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
受講者は全員社会人であり時間的な問題もあるため ZOOM で実施した。講義時は受講生の発言を促し、受講生参加型となるよう配慮した。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
保健医療福祉演習(8) 博士１通年（分担）

② 内容・ねらい（自由記述）
少子高齢化、ヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について、精神医学の側面から考究する。

③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 受講者は全員社会人であり時間的な問題もあるため ZOOM で実施した。講義時は受講生の発言を促し、受講生参加型となるよう配慮した。また、研究の実践に役立つよう、各受講生の論文購読に必要な量的データについて指導した。
(2)その他の教育活動
内容 埼玉大学非常勤講師　精神保健・精神医学特講

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①　著書 【０本】
②　学術論文（査読あり） 【０本】
③　その他論文（査読なし） 【０本】
④　学会発表等 【０件】
⑤　その他の公表実績 【０本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
(3)特許等取得
(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

④　富山県教育委員会高ストレス者面談(2023 年 10 月～2024 年 2 月) ⑤　研修講師（教職員夏期研修講、岐阜県養老町立笠郷小学校、 7 月 28 日、長野県教育委員会メンタルヘルス研修、長野県庁、9 月 7 日） ⑥　高校訪問（敦賀気比高校、7 月 27 日）

６．大学運営への参画

(1)補職
学生相談・保健センター副センター長（2019 年 4 月～現在に至る） 健康管理室長（2019 年 4 月～現在に至る） 学校医（2018 年 4 月～現在に至る）
(2)委員会・チーム活動
新型コロナウイルス感染防止対策チーム（2020 年 2 月～2023 年 5 月?） 新型コロナウイルス感染防止対策会議（2020 年 2 月～2023 年 5 月?） 安全衛生委員会（2018 年 4 月～現在に至る） 保健管理センター運営会議（2018 年 4 月～現在に至る）
(3)学内行事への参加
オープンキャンパスで高校生対象のワークショップ実施（8 月 6 日）
(4)その他、自発的活動など